

# ココから食のぐるりカラダ

それが、2011年3月11日の原発事故以来生活が一変しました。家族が分断され、庭も畑もない、鉄板屋根の下での暮らしです。心はほんとうに正直もの。体を通して悲鳴を上げているのでしょうか。じゃあ、どうすればいいのか。胸の内に詰まるモノをはくことかもしれません。悔しさ、悲しさ、怒りどんなことでもいい、思いっきりはき出す場所を見つける、その思いを共有できる人に出会えたらと思います。診療所がその場所として立ち続けたいと思っています。

この原発事故の責任は、国、東電にあります。そこにはしっかりモノを言うことで心が立ち、体に力がみなぎってきます。怒りを押し殺すことはあきらめの坂を転げ落ちること。元気も失うこと。

みんなで声をあげて行きましょう。3. 11 反原発福島行動がその日です。

私たち診療所はときおり、避難者の仮設住宅で健康相談を行っています。そこでの相談内容は、不眠、腰痛、アルコール依存などで、中でも多いのは、不眠の悩みです。

原発事故以前、仮設のほとんどの人々は、たっぴりとした自然に囲まれ、大きな敷地の中で、のびのびと暮らしていました。先祖代々の労働の賜物、黒々とした大地から、今日の食材を採り、体を養う。それが明日の労働の糧になるのですから、心もどんなにか健やかに流れていたことでしょう。

詳細はこちらをチェック！

3.11反原発福島行動ブログ

<http://fukushimaaction.blog.fc2.com/>

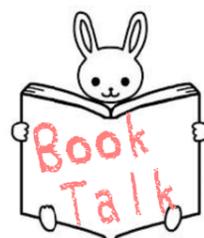


## キッズコーナーから



キッズコーナーには落合恵子さん（作家、クレヨンハウス）寄贈絵本が250冊あります。託児でお世話になっているおけいセンセがその中の一冊を紹介♪

『はなをくんくん』  
ルース・クラウド文  
マーク・シーモント絵  
きじまはじめ訳



黄色で明るく森の動物たちが踊っている様子の表紙は、何か楽しいことが始まるのかな？という期待を持たせてくれます。ページを開いていくと、深い雪に埋もれた森の中に、水墨画のような絵で、のねずみ、くま、かたつむり、リス、やまねずみたちが眠っています。突然のねずみが、くまが目を覚まし（は

なをくんくんさせて行った先には？

子どもは、最初は、（何が起ころのだろう）とかたずをのんで見ているが、最後の場面でとても素敵な笑顔が溢れる絵本なのです。何度も読んでもらおうと、今度は最後の場面が出てくるのを楽しみに待つようになります。

私たちも春休みの計画中です♪



## お知らせ

春休みの保養情報が届いています！  
お気軽にお立ち寄り下さい♪

## 編集後記

3年目の3・11が近づいています。子どもたちの甲状腺がん、震災関連死など、原発同様「収束」は、まったく見えません。この福島の現実と向き合おうとしないオリンピックの浮かれ騒ぎの中、東京都知事選で「オリンピックはやらない」という候補が一人だけでもいたことに希望を感じます。診療所もそういう存在でありたいと思います。（え）

## ふくしま共同診療所 Newsletter

# ココから通信

第4号 季刊-冬号-



診療時間：9：30-12：30/15：00-18：00

	日	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	●	-	●	●	●
午後	●	-	●	-	●	●	●

診療科目：内科/放射線科/循環器科/リウマチ科

〒960-8068

福島市太田町20-7 佐周ビル1階

TEL:024-573-9335 FAX:024-573-9380

## 子どもも大人も甲状腺検査を受けましょう

\*検査実施日：金・土・日・月（月は午前のみ）

※事前に電話予約をお願いします

\*診察時間：午前10：00～12：30 午後3：00～6：00 ※お一人さま30分程

\*検査費用：健康保険適用で1860円～ 血液検査をされても6000円以内

※18歳未満のお子さんは「こども医療費受給証」を提示すると、窓口負担はありません

### ～甲状腺検査を受けました～

40代男性

#### ①電話予約

電話をして12月22日（日）の11：30～12：30に予約を入れました。働いているので日曜日に予約ができてよかったです。

#### ②問診

当日、手続きをすませ、体温測定後、診察室で医師の問診がありました。2011年3.11当時からの生活状況の聞き取り、図を使った甲状腺の説明を受けました。その後、首の付け根のあたりを触診されました。

#### ③エコー検査

ベットに仰向けになり首から胸元にかけて検査器具（プローブというそうです）をあてられました。胸元がすぐ開ける服装だとスムーズです。看護師さんから検査箇所ゼリー状のものを塗られ、担当医がゆっくりとプローブを押し当てます。痛みはありませんでした。約15分ほどでエコー検査は終了。

ちなみに県立医大のエコー検査は2、3分の方もいたようです。「微小な異常を見逃さないためには15分は必要」と担当の先生はおっしゃっていました。プローブの動きからもその慎重さが伝わってきました。

#### ④説明

検査後、画像を見ながら医師から説明を受けました。私の場合、現在のところ異常は確認されませんでした。疑問にも丁寧に答えてくれました。そして、エコーの写真ももらいました。



### ＜県民健康管理調査結果＞

小児甲状腺（超音波）検査済人数 238,785人

小児甲状腺がんまたは疑いのある人数 58人

4,000人に1人の割合

福島県県民健康管理調査検討委員会（2013.9.30現在）

※一般的小児甲状腺がんの割合

10万人～100万人に1人

※国内甲状腺がん（2006年度統計）

20歳未満 全国で46人（約52万人に1人）

※福島県 58人（事故から2年半）

原発事故当時 20歳未満人口約40万人

上表のように小児甲状腺がんの異常な発生が報告されております。甲状腺がんは子供だけでなく大人もかかります。かなり大きくなるまで自覚症状もなく、肺やリンパ節への転移も50%を超えるそうです。

子どもだけでなく大人も甲状腺検査を受けましょう。

